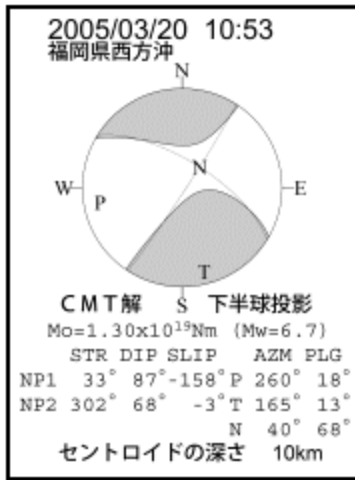
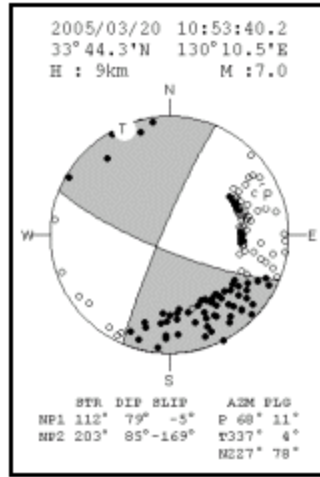


3月20日 福岡県西方沖の地震（メカニズム）

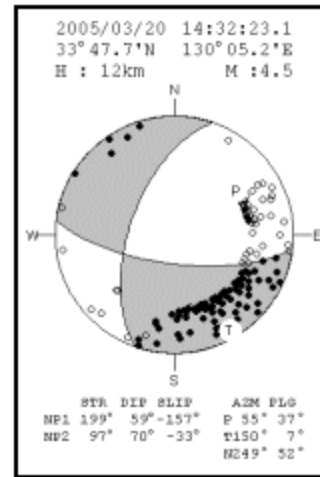
本震のCMT解



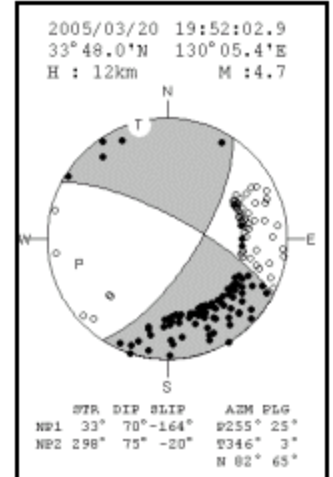
本震



P波初動解（暫定解）



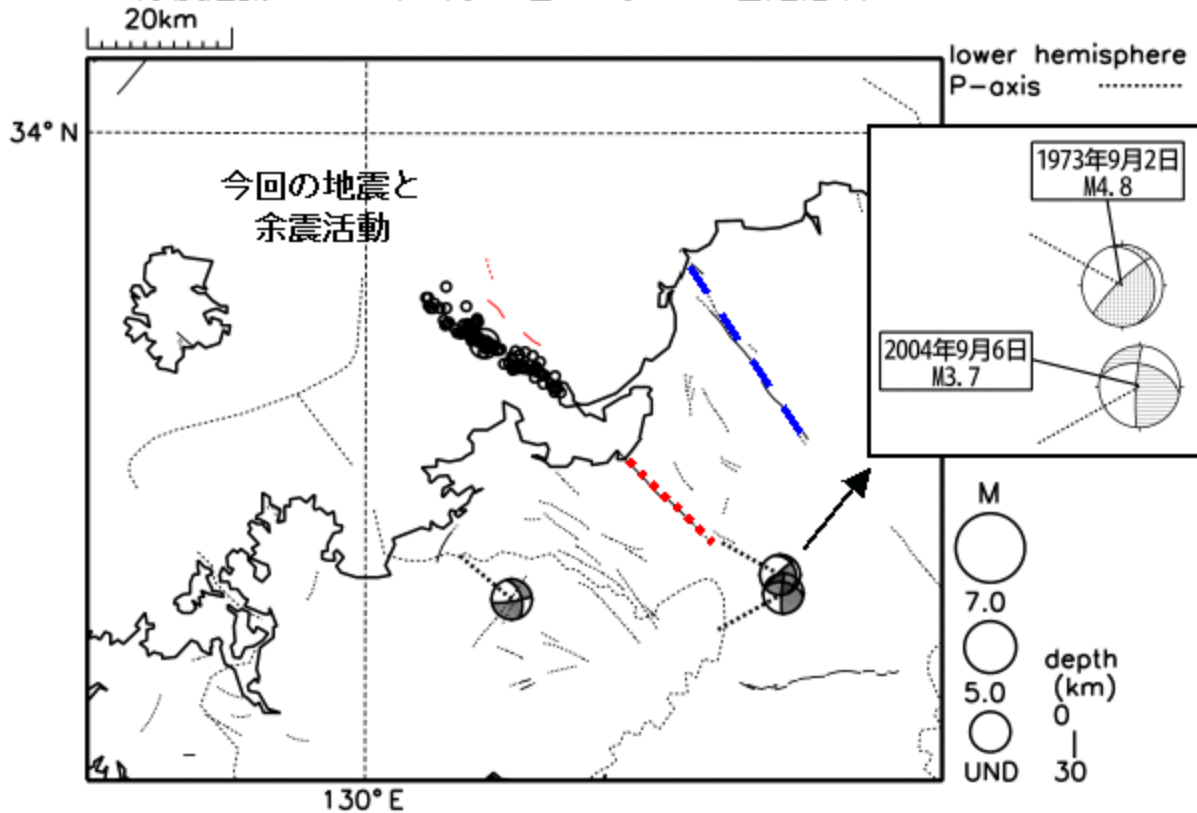
最大余震



注) 本震直後のM4.6の余震は検測不能のため未決定

今回の地震活動と過去の地震の発震機構

(余震活動は2005年3月20日19時までの暫定結果)



：警固（けご）断層の概略位置 ：西山断層帯の概略位置

- 余震域に沿う海域の断層トレースは、「福岡湾 海底地質構造図」（平成8年9月 海上保安庁水路部）による

今回の地震の発震機構は東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、余震活動の分布から北西-南東走向の左横ずれ断層と考えられる。西山断層帯は地震調査委員会の評価において、左横ずれとされており、今回の地震とほぼ同様のメカニズムが想定される。

なお、今回の地震の余震活動域の南東延長には警固（けご）断層がある。

警固断層付近において過去に発生した地震で発震機構が決まっているものはほとんどなく、断層の南東延長方向に2つあるだけである。